

# スーパーペーパークラフト

Vol.18 1/25 1997 CHEVROLET CORVETTE

Illustration/K.SHINOZAKI 篠崎 均 取材協力/ヤナセ

まさにこの号の発売日の次の日、6月7日にいよいよ日本デビューを飾るニューコルベット。もちろん今回は、このニューコルベットの日本登場を記念したスーパーぺーパークラフトです。今まで欲求不満だったコルベットファンの皆さんには、実車とペーパークラフトで一挙に欲求不満も解消するハズ。ディーラーに行って、じっくりディテールを研究したら、さあ作り始めましょうか。

## 作り方のポイント

①266~267Pの展開図をケント紙くらいの厚紙にコピーするか、本誌から切り取りボンドで貼り付けます。②パーツを切り取り線にしたがってカッターで切り取ります。タイヤの様に曲線が付いたパーツは、ハサミで切り取った方がキレイに切り取れます。接着前に必ず、パーツを差し込む穴もカットしておきましょう。ほとんどのパーツのノリシリコン番号が付いていますが、ノリシリコンのないものはカットしたパーツの裏に番号を書いておくといいでしょう。③切り取ったパーツの山折り、谷折りの線に沿って折り目をつけます。この時山折りの場合はオモテ、谷折りの場合はウラにカッターなどで切れ目を入れておくとキレイに折れるハズです。ノリシリコンを切り落とさないように注意しましょう。④各パーツのカット面(紙の切断面)は、組立前に水溶性アクリル絵の具や、プラカラーなどで着色しておくと、仕上がりがより一層キレイになります。⑤完成写真を良く見て、必ず□の番号順に接着してください。左右対称のパーツは中心から接着します。

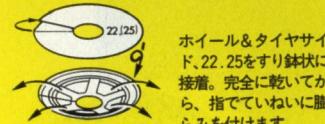
使用工具/カッターナイフ、ハサミ、ピンセット、定規、合成ゴム系接着剤(透明のもの)、木工用ボンド、竹串(指の入らないところの接着や、アールを付ける時の芯に便利)、メンソウ筆(紙の切断面の着色に)、塗料(水溶性アクリル絵の具または、プラカラーなど)。

## ①基本となるアールの付け方



片方の手で切り取ったパーツを持ちながら、定規などをあてて反対方向に滑らすと、パーツにキレイなアールができます。小さなパーツは、竹串などを芯にしてパーツを巻き付け、コヨリをつくる要領で指を左右に動かします。イラストの青色の線は、すべてアールを付ける線です。  
※必ず接着前にアールをつけてください。

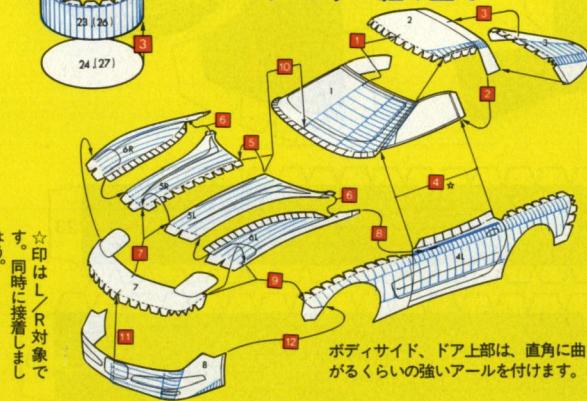
## ②タイヤの作り方



ホイール&タイヤサイド、22.25をすり鉢状に接着。完全に乾いてから、指でていねいに膨らみを付けます。  
※()内はリアタイヤ。

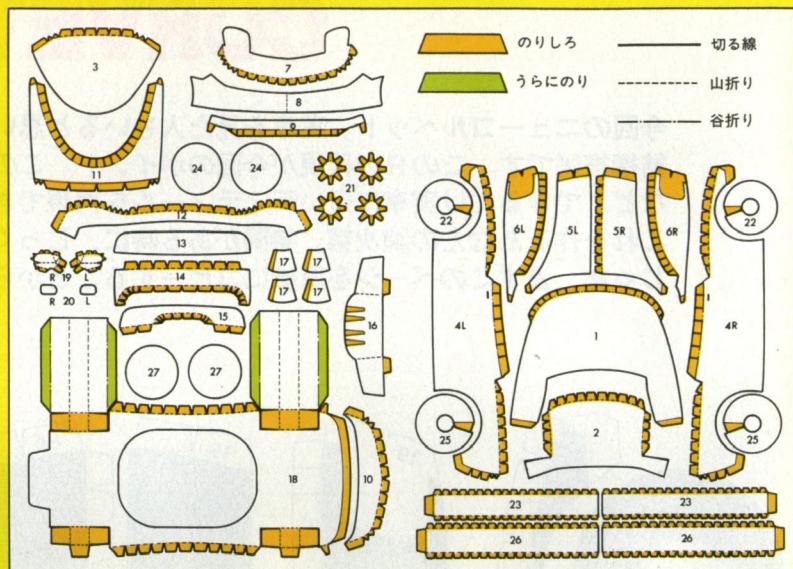


## ③メインボディ/フロントの組み立て

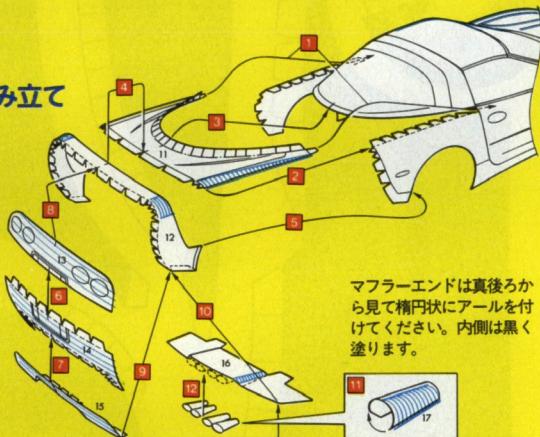


ボディサイド、ドア上部は、直角に曲がるくらいの強いアールを付けます。

このキットは、紙でできる最高のレベルで設計されています。完成モデルや実車の写真をよく見て微妙なアールを目で盗み、ディテールまで再現して下さい。正確に組み立てるには各部の細かい作り方のイラストをよく見て、この説明書に書いてあること(とくに折り目の部分)は、確実に守ってください。焦らず一日くらかけて作るのがポイントです。

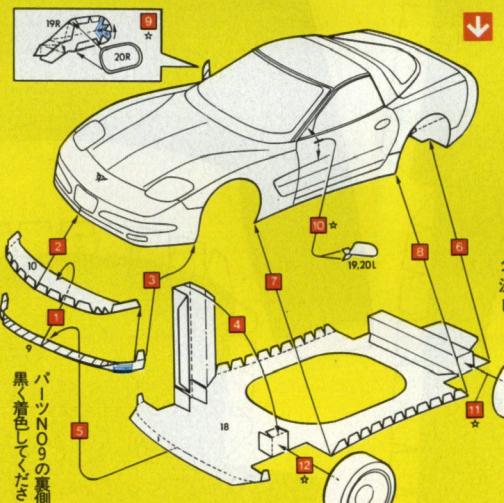


## ④リアの組み立て



マフラー端は真後ろから見て楕円形にアールを付けてください。内側は黒く塗ります。

## ⑤フィニッシュ



さあ、これでニューコルベットが完成。とりあえず実車を見て、研究。そうすれば、より完成度が高くなりますよ。



印はし/R 対象です。  
同時に接着しまし

# 1997 CHEVROLET CORVETTE

今回のニューコルベット。実車を見た人もいると思いますが、このクルマはボディのRが結構複雑です。このRの再現が今回のポイント。このキットではボンネットを4分割するなど、できるだけ実車に近いディティールを再現できるように工夫してあります。後は、これを作るあなたの腕次第。時間がある時に、じっくり腰を落ちつけて作ってください。じゃあ、まずこのページを厚紙にコピーすることから始めましょう。

